



久保田由夫 ほっと通信



NO. 111
2021. 4月号
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<右側のQRコードで、久保田由夫のブログがご覧いただけます。>



<季節の写真>

信州国際音楽村では、桜とスイセンが競演していました。
(3月31日撮影)

◆「国が2013年8月から3回にわたり生活保護費を引き下げたことは生存権を保障する憲法25条に違反する」と原告勝利の画期的な大阪地裁判決が出た。(2月22日) ◆一方で、日本における資産10億ドル以上の超富裕層(ビリオネア)の資産はこの1年間で12.2兆円から24.4兆円と2倍へ。
◆コロナ危機が国民生活を直撃している中で、だれに税負担をしてもらい、生存権を保障する政治をすすめるかが問われています。いまこそ、政治転換が急務です。◆先日、東日本大震災で大きな犠牲者を出した岩手県陸前高田市議から10年の区切りにあたり電話がきた。2011年の震災直後の4月以降、毎年のように現地入りしており顔なじみです。コロナが収束したら今年も片道8時間以上かけて支援に行くことを約束した。◆令和元年(2019年)12月4日、白馬村が「気候非常事態宣言」を出した。長野県の自治体では初で高校生からの働きかけがあったという。1年以上遅れましたが、上田市でも、令和3年(2021年)2月19日「上田市気候非常事態宣言 ~ 光・緑・人の力で目指す2050ゼロカーボンシティうえだ ~」を表明しました。この宣言にもとづく行動が必要となります。(くぼた よしお)

資源循環型施設建設・環境影響評価(配慮書)を作成したのち公告・縦覧、住民説明会(上田地域広域連合議会報告)

◎資源循環型施設建設の課題

- ・令和2年10月16日、資源循環型施設建設対策連絡会との懇談会において「環境影響評価着手の受け入れ」があった。
 - ・11月17日、上田市し尿前処理下水道施設建設について、地元自治会が受入同意
 - ・11月18日、八千代エンジニアリング(株)と委託契約(316万8千円)
最初の段階である配慮書は今年度末に作成予定。
 - ・12月22日、資源循環型施設建設対策連絡会との懇談会
ごみ処理広域化計画の改訂案の説明等。
- <ごみ処理広域化計画の改訂案に対するパブリックコメント>
(期間令和2年11月17日~12月16日まで)
- ・受付状況 5人、19件

◀今後の予定▶

配慮書を作成したのちに、公告・縦覧を実施、併せて住民説明会開催
住民説明会は、秋和、上塩尻、下塩尻、諏訪部の地元4自治会。
圏域全体(上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町)合わせて5回予定。

<長野県条例による環境影響評価について>

第一段階 配慮書

事業計画の柔軟な変更が可能である早期の段階において、重大な環境影響を回避、低減することを目的に、位置等に関する複数案について、調査、予測及び評価をし、その内容について意見を聴くために作成する図書です。

第二段階 方法書

第三段階 評価書

第四段階 評価書公告後の手続

以上の4つの段階の手順が必要であり、期間はおよそ4年間かかるとう説明されています。

◎救急・救助業務

(※消防統計は暦年を採用)

- ・令和2年中 緊急出動件数
8,876件(前年比1,055件減少)
- ・令和2年中 救助事案53件
(前年比4件減少)



◎火災予防

- ・令和2年中 火災件数70件(前年比3件減少)

◎3つのクリーンセンター

- ・可燃ごみ 昨年同期より3.2%減少
(内訳 家庭系0.2%増加、事業系9.8%減少)

◎清浄園(し尿処理施設)

- ・昨年同期より3.1%減少

◎2つの斎場

- ・依田窪斎場に授乳室を設置

◎地域医療対策

- ・信州上田医療センター医師数 74人(前年比6人増)
- ・病院群輪番制病院補助事業では、昨年中、信州上田医療センターと合わせて、7,022件を受け入れ。(全体の85%)

◎介護保険・障がい者介護給付等審査

- ・広域連合圏(坂城町除く)
65歳以上人口は、60,766人(高齢化率31.7%)
- ・介護保険の要介護認定申請数 7,092件(前年比639件減少)
- ・障害支援区分の認定申請者件数 304件(3年前比較16件増加)

◎上記の他に、図書館ネットワーク事業、上田創造館、広域観光、ふるさと基金事業などが上田広域連合組合の業務です。

◎令和3年度一般会計予算と特別会計(当初予算)

総額 48億7,689万円(前年度比5,125万円減)